



令和5年11月30日

校長 大野 孝一

今年は春も短く感じましたが、秋も短く感じました。冬の寒さに負けず健康第一で頑張りましょう。感染症の予防のため手洗いや換気など基本的な対策を続けていきましょう。

美しい歌声に感動！～桜歌祭～

10月31日(火)には文化の部が本校体育館で行われました。演劇部の発表が機材トラブルで本来のものとは違った形になってしまいましたが、どの発表も時間を上手に使って発表を行いました。図書委員会のビブリオバトルは3人の生徒が見る人の興味関心を引こうと工夫をして本の紹介をしてくれました。美術部とコンピュータ部は自分たちの活動内容や成果を発表しました。音楽室前に掲示してある美術部の作品はそれぞれ個性があり、楽しんでみるができます。また、コンピュータ部のゲームはどこか懐かしい雰囲気を感じられるもので興味がわきました。放送委員会は七色の声で活動を紹介してくれました。最後に、制服のお披露目ビデオをみました。



(お披露目された新制服)

11月1日(水)には、市川市文化会館大ホールにて合唱の部が行われました。ステージ頭上には美術部が作成した「桜歌祭」の看板が設置され、合唱の部を華やかにしてくれました。美術部のみなさん、ありがとうございました。生徒会の観覧のマナーの説明、吹奏楽部の演奏、新制服のお披露目も盛り上がりました。

そして、各学級の発表。どのクラスも練習の成果を存分に発揮し、美しいハーモニーが大ホールに響き渡りました。どの学年も発達段階に応じた素晴らしい発表でしたが、特に3年生はどのクラスも圧巻のパフォーマンスでした。



3年4組が市内音楽会に出演しました

桜歌祭で、最優秀賞を受賞した3年4組のみなさんが11月9日(木)に行われた市内音楽会に三中の代表として出場しました。歌う前は少し緊張した面持ちでしたが、市川市文化会館大ホールですばらしいハーモニーを聴かせてくれました。感動をありがとうございました。

人はみんな違うからおもしろい

校長室では、10月から3年生一人ひとりと面接をしています。みんなしっかりと面接の準備を進めていて、立派な態度で臨んで来ています。生徒のみなさんそれぞれがさまざまな考えを持っていておもしろいなあと感じています。勉強になることもたくさんあります。みなさんそれぞれが持っている個性を大切に伸ばして行ってほしいと思っています。

改めて人はみんな違うんだなと思っています。自分と似た考えの人、まったく違う人、さまざまですね。似た人は一緒にいて心地よいかもしれませんが。違う人という居心地がわるいかもしれません。でも、ひとつの集団の中で生活を送っていくには様々な人とコミュニケーションをとる必要があります。考えが違うからといって、相手を否定しているだけでは何もうまくいきません。そこで、まずは相手と自分の「違い」を認めることから始めることが大切ではないでしょうか。相手が正しいと認めることではありません。相手の考えをまずは受け止めることが大切だということです。人は育ってきた環境が違うのでなかなか理解できないこともあります。でも、違いを認めることで「こんな視点から考えることもできるんだ」「こういう風な見方をするんだ」という気づきもあるはずです。相手の良いところが見えてくることも多いです。お互いの理解は「違い」を認めることからです。みんな同じだったら怖いですよ。みんな違うから世の中面白いのです。



コミュニケーションは顔を合わせることも大切

SNS などコミュニケーションツールを介したトラブルが後を絶ちません。意図的に相手をばかにしたり、仲間外れにしたり、個人情報さらしたりする行為は絶対にあってはならないことです。陰湿な行為は絶対にしないようにしましょう。

SNS など顔を合わせず文字や絵文字など視覚のみのやり取りでコミュニケーションとる場合に、自分の意図したことがうまく伝わらずに誤解を生むことがあります。コミュニケーションには言語によるもの以外に、非言語によるものもあります。人と人が顔を合わせてコミュニケーションをとる場合には表情や身振り手振り、ジェスチャーなど言葉以外の情報も多く伝わります。それによって人の感情や細かい意味合い、言外の意図なども伝わるのです。



SNS やチャットは便利なツールです。連絡事項はすばやく伝わります。気持ちを伝えたいときや細かいニュアンスを伝えたいときは直接話すほうが良い場合が多いです。時と場合によって、使い分けることが必要ですね。

祝 吹奏楽部が最優秀グランプリ・文部科学大臣賞を受賞

10月28日（土）、日本管楽合奏コンテスト全国大会に出場し、最優秀グランプリ・文部科学大臣賞を受賞しました。21日の全国吹奏楽コンクールに続き最高賞受賞となりました。おめでとうございます。

